

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小売商業支援事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	商工労政係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		1 商店街を再生する									
		副目的														
	予算区分	款	7		項	1		目	2		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市商業団体等事業費補助金交付要綱、小牧市小売商業振興対策促進利子補給補助金交付要綱、小牧市中心街にぎわい創出事業費補助金交付要綱、小牧市中心市街地空き店舗対策事業費補助金交付要綱														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	23.5 %			委託	0 %			助成	76.5 %					
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	中小小売業者及び商業団体に対し、環境の変化や近代化に対応するための設備投資や商業団体活動に係る費用の一部を補助し、小売商業の活性化を促進する。														
	内容 (手段)	<p>○平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小売商業振興対策促進利子補給補助金 中小小売業者及び商業関係組合に対し、愛知県の商工業振興資金のうち設備に係る融資を受けたものに対して、利子の一部を補助した。1,633,900円</li> <li>・商業団体等補助金 商店街の活性化を図るために、商業団体等が実施する事業や街路灯の撤去、修繕に補助をした。5,988,900円</li> <li>・中心市街地にぎわい創出事業費補助金 小牧にぎわい隊が地域に暮らす市民・企業・諸団体等の協働により展開するにぎわい創出事業に助成し、中心市街地の活性化を図った。5,531,300円(県、がんばる商店街推進事業費補助金 1,663千円)⇒平成24年度より中心市街地活性化事業へ</li> <li>・中心市街地空き店舗対策事業補助金 空き店舗を減らし、商店街の活性化を図るため、やる気のある商業者を呼び込み、定着してもらうため、中心市街地の指定したエリア内の新規出店者に対し、店舗改装費、家賃を補助した。1,122,500円⇒平成24年度より中心市街地活性化事業へ</li> </ul> <p>【その他直接経費の内訳】 普通旅費(5,500円)、消耗品費(170,016円)</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	17,926	12,388	14,453	9,704	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.79	0.10
			人件費	千円	531	531	4,202	531
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	18,457	12,919	18,655	10,235	
	対前年比	%		69.9	144.3	54.8		
財源	一般財源	千円	16,707	11,169	16,992	10,235		
	国・県支出金	千円	1,750	1,750	1,663	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	小売商業振興対策促進利子補給補助	件	目標		200	200	100
実績				109	68	51	
商業団体事業費補助	団体	目標		—	—	—	14
		実績		14	15	14	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	中心市街地にぎわい創出事業来場者	人	目標		7,000	7,000	9,000
実績				12,200	9,229	36,158	
中心市街地空き店舗対策事業費補助助成件数	件	目標				—	2
		実績				1	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>・小売商業振興対策促進利子補給補助事業や商業団体等補助事業を実施し、小売商業の活性化を促進することができた。          ・また、中心市街地の商業活性化に向け、賑わい創出事業への補助を行い、目標値より多くの来場者を中心市街地に呼び込むことが出来た。さらに、平成23年度において中心市街地空き店舗対策事業費補助制度を創設したことにより、新規出店が促進され中心市街地の商店街の活性化に寄与した。</p>
	事業実施における課題等	商業団体は、構成員の高齢化や団体加入者の減少により、弱体化が進んでおり、街路灯の管理のみを団体活動として行っているところが半数を占めている。また、年々商業団体の解散も進んでいる。
	事業を縮小・廃止したときの影響	小売商業者および商業団体の衰退が更に加速することが予測される。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	昨今の経済情勢から、小売業者を取り巻く状況は厳しく、地域業者の支援のため、補助事業は必要である。
	改善案等	小売業者、商業団体が直面する課題に対応するような支援策について、検討する。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。